

2026年度中国古典文化講座

蓬萊庭園と 神仙思想

講師 大形 徹 氏
(立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員)



日本の古代庭園や京都の庭園は中国の神仙思想の影響を受けています。秦の始皇帝は不老不死の仙人や仙薬を、蓬萊・方丈・瀛洲という島に探しに行かせました。「秦始皇二十八年（前219年）齊人徐市（じょふつ）等上書して言う、『海中に三神山有り、名づけて蓬萊、方丈、瀛洲（えいしゅう）と曰う。僊人之に居る。斎戒し、童男女と之を求めんことを得んことを請う』と。是に於て徐市をして童男女数千人を發し、海に入りて僊人を求めしむ。」（『史記』秦始皇本紀第六）

始皇帝や漢の武帝は宮中に大がかりな庭園を造り、神仙境を作りだそうとしました。

日本の庭園もその影響を受けています。庭園に池があり島があります。蓬萊山の下には亀がいて、蓬萊山はふらふらと海を漂っているといった話から、庭園の池の島に亀や鶴の名前がつけられました。

10/31^土

13:00~14:30

立命館孔子学院講義室
＋オンラインライブ配信

参加無料（要事前申込）

お申込み・お問合せ：立命館孔子学院

603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内

TEL: 075-465-8426 Mail: koza@st.ritsumeikan.ac.jp

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/>